当院を受診中の患者さんへ

臨床研究の実施に関するお知らせ

現在薬剤部では、下記の臨床研究を実施しております。
この研究では、患者さんの日常診療で得られた試料・情報を利用させていただきます。
ご自身の試料・情報がこの研究に利用されることについて、異議がある場合は、試料・情報の利用や他の研究機関への提供を停止することができます。ただし、すでに研究結果の解析が終了し、公表されている場合などに、あなたの情報のみを取り除くことができない可能性もあります。研究の計画や内容などについて詳しくお知りになりたい方、ご自身の試料・情報がこの研究で利用されることについて異議のある方、その他ご質問がある方は、以下の「問い合わせ先」へご連絡ください。

●研究課題名

膵臓がん患者における GEM＋nab-PTX 療法による好中球減少のリスク因子解析及び予後との関連性

●研究の目的

ゲムシタビンおよびアルブミン懸濁型パクリタキセル（GEM＋nab-PTX 療法）の投与を受けられた患者さんを対象に、通常の診療で得られた試料・情報を収集・解析することにより、GEM＋nab-PTX 療法の効果および安全性を評価し、より良い治療法を確立することを目的としています。

●対象となる患者さん

2015 年 2 月 1 日から 2022 年 7 月 31 日の間、当科を受診され、膵臓がんの治療として GEM＋nab-PTX 療法を受けられた患者さん。

●研究予定期間：2026 年 3 月 31 日まで

●研究機関の長：神戸市立医療センター中央市民病院 病院長 木原康樹

●使用させていただく試料・情報

・年齢、性別、身長、体重、病名、重症度、CT 等の画像、治療の転帰
・アルブミン懸濁型パクリタキセルおよびゲムシタビンの投与量、投与回数、投与間隔
・臨床検査値（T-bil、血清クレアチニン値、アルブミン値、CRP、白血球数、好中球数、リンパ球数、血小板数）　等

●個人情報の取り扱いと倫理的事項

研究に利用する試料・情報は、患者さんを直接特定できる情報（お名前やカルテ番号など）を削除し加工しますので、当院のスタッフ以外が当院の患者さんを特定することはできません。
この研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その場合でも上記のとおり加工していますので、患者さんのプライバシーは守られます。
なお、この研究は、国の定めた指針に従い、当院の研究倫理審査委員会の審査・承認を得て、病院長の許可のもと実施しています。

●研究機関

神戸市立医療センター中央市民病院　薬剤部
研究責任者　室井　延之（情報管理責任者）
窓口担当者　池末　裕明（連絡窓口）
住所：神戸市中央区港島南町 2 丁目 1-1
電話：078-302-4321（代表）

2023 年 12 月 6 日作成　第 1.0 版